

# アサマシジミ

## チョウ目シジミチョウ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

*Lycaeides subsolanus yarigadakeanus* (Matsumura)

### 選定理由

分布は局地的で生息地は局限され、全国的に減少している。

### 形態

開張30mm程度の小型種。オスの翅表は灰青色、裏面は灰白色で前後翅外縁には橙色帯がある。メスの翅表は黒褐色で前後翅外縁に橙色斑があり、裏面の地色はオスより茶色味が強い。

### 国内分布

北海道と本州の関東、中部地方の山地のみに分布し、長野県には生息地が多い。石川県は分布の西限になっている。

### 県内分布

尾添川水系の、蛇谷、中の川、丸石谷に生息地が多く、白山スーパー林道三方岩岳駐車場から北方へ伸びる稜線上には、見越山に至るまで点々と記録がある。

### 生態

ナンテンハギやイワオウギを食草とし、河原や畑跡、岩棚、ガレ場などに生息している。年1回の発生で、6月中頃から飛びはじめ、高地や残雪の多い渓谷の河原では、8月中頃でも見られる。発生は残雪の影響を大きく受け、同一産地であっても毎年同じ時期に発生するとは限らない。

### 生息地の条件

主な生息地は、ナンテンハギやイワオウギが生える河川に沿った河原や岩棚、ガレ場で、時にイワオウギが生える尾根部のガレ場でも見られる。

### 生存の危機

渓谷域の河原は狭く小さいが、道路や公園、駐車場などに真っ先に開発される場所である。残された河原も治山工事によって安定した結果、遷移が進み食草が見られなくなった地域が増えている。人間活動がおよばない奥山においては、生息環境は保たれている。

### 特記事項

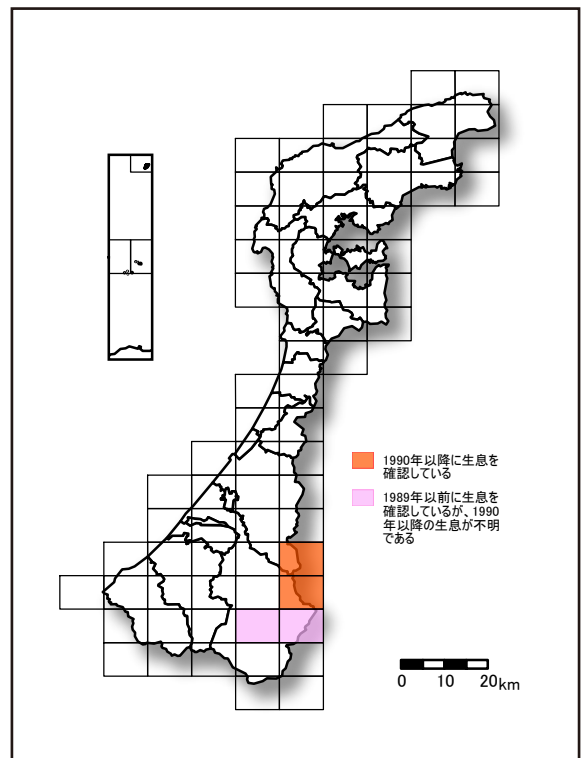
いずれの生息地も隔離され個体群も小さいので、ヤリガタケシジミ、トガクシジミ、シロウマシジミなど、それぞれの生息地を冠した名称が存在するほど地理的変異に富んでいる。(A)

### 参考文献

福田晴夫ほか 1984. アサマシジミ. 原色日本蝶類生態図鑑(Ⅲ): 323-327. 保育社. 大阪.  
松井正人 1998. 蝶類. 石川県の昆虫: 342-365. 石川県自然保護課.



写真提供者: 松井正人



県内の分布